

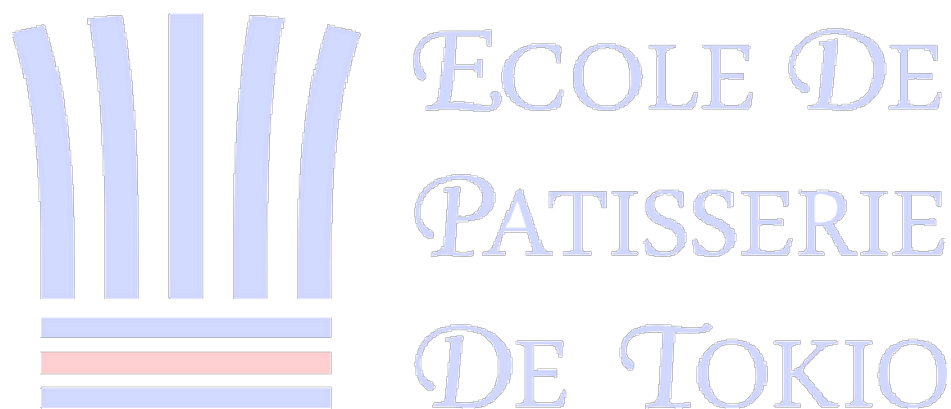
2020年度
自己点検評価報告書

評価対象期間

自:2020年 4月 1日

至:2021年3月31日

2021年4月



学 校 法 人 東 京 綜 合 食 品 学 園
東 京 製 菓 学 校

はじめに

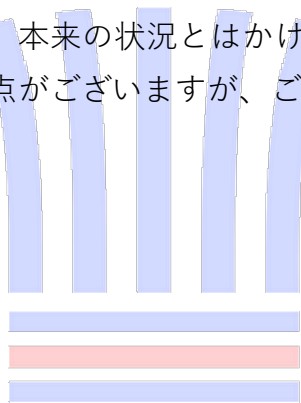
依然として、新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に増加傾向にあり、感染拡大の勢いが止まらない状況が続いております。

世界的にみれば「ワクチン」の開発にも一定の目途が立ち、一部の国ではその接種率が相当に進んでいる国も見受けられます。また、その効果についても非常に期待できるといふ明るいニュースも耳にします。

我が国においても、一刻も早い接種率の向上を期待し、当該ウイルスの収束を願うばかりです。

当学園は、2020年度において「新型コロナウイルス」の影響を大いに受け、様々な制約のもとで授業を実施してまいりました。

本評価報告書における各評価は、その制約下における状況を前提として、評点をつけています。本来の状況とはかけ離れた部分が多々あり、他の年度と比べ、比較対象としにくい点がございりますが、ご了承願います。



ÉCOLE DE
PÂTISSERIE
DE TOKIO

東京製菓学校

2021年4月

目 次

1	学校の教育理念について	3
2	本年度定めた重点的に取り組んだ目的、人材育成像	3
3	評価項目の達成状況及び取組状況	
(0)	各課各係の方針と目標	4～6
(1)	教育理念・目標	7～8
(2)	学校運営	9～11
(3)	教育活動	12～15
(4)	学修成果	16～17
(5)	学生支援	18～20
(6)	教育環境	21
(7)	学生の受入れ募集	22
(8)	財 務	23～24
(9)	法令等の遵守	25～26
(10)	社会貢献・地域貢献	27
(11)	国際交流	28～29
4	学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	30～31

1. 学校の教育理念について

・教育理念 「菓子是人なり」

東京製菓学校は1954年の開校以来、「菓子是人なり」の教育理念の基で、時代が求める新しい教育手法を取り入れて学生を指導し、次代を担うプロの育成を目指しています。

どれほど優れた技術も、人間的な成長が未熟であれば、意味を失うことは明らかです。

本校は、即戦力として社会で活躍できるよう、少数担任制で学生の自主性と創造力を尊重し、最新の特殊設備まで網羅し実践的なカリキュラムを順次取り入れています。

また、国内外のトップレベルの講師を招くなど、充実した教育環境を提供することに全力を注いでいます。

学生一人ひとりの夢の実現を力強くサポートしていき、創造する勇気にあふれ、豊かな心をもった技術者を、これからも日本だけでなく世界中にたくさん送り出していきます。

・“プロを育てる”プロである

「いつでも最先端の技術と知識を学べる」。

東京製菓学校は、1954年の開校以来、業界の人材育成のトップランナーであり続けています。先取的な取り組みによって卒業後すぐに役立つ新たなスキルやノウハウを身につけることができるのです。また、どんなに優れた技術も人間的に未熟であれば真のプロフェッショナルになれないと考えています。

2. 本年度定めた重点的に取り組んだ目的、人材育成像

即戦力として社会で活躍できる人材育成のために、重点的な取り組みとして以下の5項目を実施しました。

①「実習」に多くの時間を費やし、繰り返し作ることを基本とする。

～実習・実演時間の充実化、現場に近い感覚で学べる環境の提供～

②最新の特殊設備まで網羅し、実践的なカリキュラムを取入れる。

～時代に乗り遅れない、一步先を行く先進性～

③和洋パンの中から一つを選び「専門学習」で技術力と自信を身につける。

～専門的知識・能力の形成、即戦力となる人材の育成～

④少数担任制で学生の自主性と創造力を尊重する。

～自ら動ける人間性の構築、クリエイティブセンスを磨き上げる～

⑤国内外のトップレベルの講師による講習と資格取得の支援を行う。

～プロを育てるプロとしての自信と実績～

評価項目	評 価
0-1.教育部(和菓子課、洋菓子課、パン課)の教育基本方針	④・3・2・1
A.年度の目標・方針	
①パン・菓子産業界において即戦力となる人材の育成 ②理論と実習を通じて、挨拶や礼儀などの菓子・パン作りに必要な人間形成 ③応用力を養い、技術の活用性と向上心を磨く ④同じ目的を持つ仲間の和を大切にし、学生同士はもちろんのこと、学生－教師間の信頼関係も構築する。また、信頼を築くことによって中退率の低減に努める。	
B.達成度	
90%	
C.課題と今後の改善方策	
現在の達成度を更に高めるよう、努力を継続する。	

評価項目	評 価
0-2.学生課の基本方針	4・3・②・1
A.年度の目標・方針	
学生が参加するイベントについて、指導・管理する。	
B.達成度	
50%	
C.課題と今後の改善方策	
ほとんどのイベントを実施出来なかった点をマイナス評価とする。ただし、コロナ禍においても、学生と教師が共に意見を出し議論を尽くすことで、制約下の中でも一定の成果(菓子祭に代わる作品展示会の実施、学生会新聞の発行など)を出すことができた部分はプラス評価とした。今後も協力し合い、充実した学生生活を送れるように学生課として最善を尽くす。	

評価項目	評 価
0-3.付帯教育課(菓子教室、各ゼミナール)の基本方針	4・③・2・1
A.年度の目標・方針	
①スイートキッチンクラブ(菓子教室)、②夏季特別セミナーの計画・実施、③各種ゼミナールの運営や開催を計画・実施。 一定数以上の受講者数の維持・確保を目標とする。	
B.達成度	
60%	
C.課題と今後の改善方策	
コロナ禍における安全配慮として、緊急事態宣言下におけるカリキュラムを休止とした。また、再開後も試食を当面の間禁止するなど感染症対策に努めた。一方で人気実習品目を振替えて実施するなど、会員の要望にも耳を傾け、会員数の維持を図った。今後も更なる充実化を目指し、会員数の維持・増員を目指す。	

評価項目	評 価
0-4.総務部会計課の基本方針	④・3・2・1
A.年度の目標・方針	
学園の安定的な運営と教育目標達成のため予算管理を強化し、収支の安定を図る。	
B.達成度	
90%	
C.課題と今後の改善方策	
コロナ禍における予算修正にも迅速に対応できた。今後も健全な経営を保てるよう尽力する。	

評価項目	評 価
0-5.総務部入学係の基本方針	④・3・2・1
A.年度の目標・方針	
現在目標に加えて、積極的に職業的認知を図る。	
B.達成度	
90%	
C.課題と今後の改善方策	
確実に減少すると考えられる留学生獲得に尽力する。少子化と大学全入時代の大きな問題をクリアーにして、日本人学生の増加を達成する。	

評価項目	評 価
0-6.総務部就職係の基本方針	④・3・2・1
A.年度の目標・方針	
就職を希望する学生の就職先を斡旋し、就職率100%を目指す。	
B.達成度	
95%	
C.課題と今後の改善方策	
就職希望の学生に対する就職率100%を達成。個々の面談をより充実させ、更に高いレベルでの就職斡旋が出来るように努める。	

評価項目	評 価
0-7.総務部施設係の基本方針	4・③・2・1
A.年度の目標・方針	
施設の安全性の確保と教育活動の可能性が広がる教育環境整備。	
B.達成度	
70%	
C.課題と今後の改善方策	
コロナ禍において工事自粛を行ったため環境整備達成度が低くなった。ワクチン接種に伴い随時環境整備を行っていく。	

評価項目	評 価
0-8.総務部庶務係の基本方針	④・3・2・1
A.年度の目標・方針	
各課との間で問題認識を共有し、教育活動の扶助推進のため、より円滑に①教材の仕入れ・調達②情報の収集と提供③業務効率をよりよくするよう努める。	
B.達成度	
85%	
C.課題と今後の改善方策	
前年度より徹底してきた情報共有と業務の可視化を引き続き行うことにより、さらに効率よく業務の推進を図り、経費削減につなげるよう努める。	

総合平均値	3.5
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

3. 評価項目の達成状況及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評 価
1-1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
当学園は技術面の育成だけでなく、「菓子は人なり」という基本理念のもと、プロを育てるという自覚を持ち、洋菓子・和菓子・パンを通じて、社会で通用する人間形成にも力を注いでいる。	
B.評価の根拠	
学則、入学案内書、ホームページ、ディプロマポリシー、学生アンケート	
C.課題と今後の改善方策	
理論・実習を通じて、更に基本理念の理解が深まるよう努力を続けていく。	

評価項目	評 価
1-2.学校における職業教育の特色は何か (学校の特色として挙げられるものがあるか)	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
和菓子・洋菓子・パンと独立したコースになっており、専門性を高める教育が出来ている。 また、総授業時間数およびそのうちの実習時間数は国内トップクラスを保っている。	
B.評価の根拠	
設置コース及び教育計画、入学案内書、ホームページ	
C.課題と今後の改善方策	
理論と実習の融合性を高め、更なる充実を目指す。	

評価項目	評 価
1-3.学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
経験豊富な専任教師陣や専門性の高い施設設備をもって、パン菓子産業界が求める人材の育成を実施している。 基礎的理論・基本的実習を大切にしながらも、時代にあったニーズに対応できている。	
B.評価の根拠	
授業カリキュラム、シラバス、特別ゼミの実施、施設計画など	
C.課題と今後の改善方策	
パン菓子産業界との連携を深め、更なる充実を目指す。	

(1) 教育理念・目標

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評 価
1-4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
概ね、周知されている。	
B.評価の根拠	
学生アンケート、入学案内、ホームページ等	
C.課題と今後の改善方策	
更なる内容の充実を図る。	

評価項目	評 価
1-5.各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
パン菓子産業界が求める人材の育成を目標とし、各業界からも評価を得ている。	
B.評価の根拠	
シラバス、講習会やセミナーへの積極参加、各種団体からの情報収集や情報交換	
C.課題と今後の改善方策	
パン菓子産業界との意思疎通を図り、内容充実を目指す。	

総合平均値	4.0
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
2-1.目的等に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
明確に策定されている。	
B.評価の根拠	
事業計画 教職員アンケート	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
2-2.運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
運営方針に沿って、明確に策定されている。	
B.評価の根拠	
事業計画	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
2-3.運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
組織体制、意思決定機能は明確化されており、有効に機能している。	
B.評価の根拠	
運営組織図、各種委員会、就業規則およびその他の諸規則	
C.課題と今後の改善方策	
意思疎通・問題認識の共有化を図り、更なる充実を目指す。	

評価項目	評 価
2-4.人事・給与に関する規程等は整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
整備されている。	
B.評価の根拠	
給与規程、就業規則等	
C.課題と今後の改善方策	
法令を遵守した改定を随時行う。	

評価項目	評 価
2-5.教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
組織整備されている。	
B.評価の根拠	
就業規則、業務の分担規程、経理規程	
C.課題と今後の改善方策	
教師・職員の意見を反映する仕組みを検討する。	

評価項目	評 価
2-6.業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
体制は整備されている。	
B.評価の根拠	
コンプライアンスに関する内規	
C.課題と今後の改善方策	
ホームページ上での「コンプライアンス宣言」の実施を検討する。	

評価項目	評 価
2-7.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
公開用の資料を作成しており、公開の規程も整備されている。	
B.評価の根拠	
情報公開規程	
C.課題と今後の改善方策	
ホームページ等で公開できているが、更なる充実を目指す。	

評価項目	評 価
2-8.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
個人に1台以上のPCを配置し、課・係毎に情報の共有化を行えている。効率化も図れている。	
B.評価の根拠	
PC設置状況およびシンクライアント環境の導入実績	
C.課題と今後の改善方策	
情報漏洩などに対する個々の意識を高め、情報の使用ルールの作成と周知徹底を図る。	

(2) 学校運営

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

総合平均値	3.8
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
3-1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
明確に策定されている。	
B.評価の根拠	
業務方針会議（方針発表・反省報告）	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
3-2.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
コロナ禍の影響により例年通りの総授業時間数は確保できなかったが、スケジュールを調整することで多種類多品目の実習を実施できた。また、それにより応用力と習熟度を高めた。	
B.評価の根拠	
教育カリキュラム、入学案内書、ホームページ等	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。不測の事態に対応できる体制を更に強化する。	

評価項目	評 価
3-3.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
学科別に体系的に整備されている。	
B.評価の根拠	
授業カリキュラム、シラバス	
C.課題と今後の改善方策	
パン菓子産業界の要望に応えるカリキュラムの導入を検討する。	

評価項目	評 価
3-4.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
実施されている。	
B.評価の根拠	
授業カリキュラム、シラバス	
C.課題と今後の改善方策	
教師や業界の求めるものだけでなく、学生からの要望にも応えることを検討していく。	

(3) 教育活動

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評 価
3-5.関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
状況に応じて、カリキュラムの作成・見直し等が適宜行われている。	
B.評価の根拠	
業界団体との交流実績など	
C.課題と今後の改善方策	
業界団体等との意思疎通を図り、更なるカリキュラムの充実を目指す。	

評価項目	評 価
3-6.関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
体系的に位置づけられている。	
B.評価の根拠	
インターンシップ規則、授業カリキュラム、入学案内書、ホームページ等	
C.課題と今後の改善方策	
インターンシップの受け入れ先拡大に向けて、努力を続けていく。	

評価項目	評 価
3-7.授業評価の実施・評価体制はあるか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
教職員間で毎授業後に授業評価を行っている。	
B.評価の根拠	
夕礼、教職員会議、学生アンケート	
C.課題と今後の改善方策	
各課で毎日夕礼を実施し、問題や反省、改善の共有を図っているが、更なる充実を目指す。	

評価項目	評 価
3-8.職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
実施している。	
B.評価の根拠	
学校関係者評価委員会および同規則	
C.課題と今後の改善方策	
今後も適宜適切に開催し、更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
3-9.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
学校規則等により、明確に定められている。	
B.評価の根拠	
学生生活ガイド、成績評価基準、卒業基準、GPA制度	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
3-10.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
カリキュラムの中で体系的に位置づけられている。	
B.評価の根拠	
授業カリキュラム・製菓衛生師受験対策セミナー	
C.課題と今後の改善方策	
資格取得に対する学生からの要望が年々高まっているので、指導体制やカリキュラムの強化を検討していく。	

評価項目	評 価
3-11.人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
要件を備えた教員の確保ができています。	
B.評価の根拠	
教員資格取得及び受賞表	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
3-12.関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
原材料、製菓製パン機械等の関連企業の中から代表的な企業、優れた製品を開発している企業と提携している。また、当該企業より講師を派遣してもらい、授業を実施している。	
B.評価の根拠	
授業カリキュラム、企業との委託業務提携、入学案内書、ホームページ等	
C.課題と今後の改善方策	
授業内容をより高め、更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
3-13.関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
企業、協会等による研修会等に積極的に参加させている。	
B.評価の根拠	
コンテスト等参加規程、各課予算申請資料、課別業務方針及び教育計画等	
C.課題と今後の改善方策	
研修会等で得た知識やスキルを教師間で共有し、授業カリキュラムに反映できるよう努める。	

評価項目	評 価
3-14.職員の能力開発のための研修等が行われているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
定期的に行っている。自主的なセミナー参加等を奨励している。	
B.評価の根拠	
各種コンテストやセミナー、講習会への参加状況、内部研修会/勉強会の実施状況	
C.課題と今後の改善方策	
個々の自主性も高め、更なる充実を図る。	

総合平均値	3.6
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

(4) 学修成果

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評 価
4-1.就職率の向上が図られているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
就職希望者の就職率は100%であり、高い水準を保っている。	
B.評価の根拠	
業務方針資料<就職係>	
C.課題と今後の改善方策	
就職受け入れ先の拡大に努める。	

評価項目	評 価
4-2.資格取得率の向上が図られているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
図られている。	
B.評価の根拠	
衛生責任者の取得のための授業を実施。	
C.課題と今後の改善方策	
資格取得意欲の増進を図る。	

評価項目	評 価
4-3.退学率の低減が図られているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
退学率は低い水準を保っている。	
B.評価の根拠	
減点制度・保護者通知・担任・学生相談担当・学費ローン制度・奨学金等の紹介	
C.課題と今後の改善方策	
カウンセリングを充実させて、退学率の更なる低減を目指す。	

評価項目	評 価
4-4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
コンテスト等の受賞者の確認、卒業生の就業状況および新規開店の把握や業界内での評価の把握に努めている。	
B.評価の根拠	
校友会活動（支部がある地域のみ）・コンテストの取材・雑誌記事による情報収集	
C.課題と今後の改善方策	
コロナ禍で活発に活動できなかったが、SNS等あらゆる情報ツールを使用して状況の把握に努めた。制約下においてもできる活動を今後も継続していく。	

評価項目	評 価
4-5.卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
社会的に活躍している卒業生を講師として招き、教育活動の改善に取り入れている。 また、キャリア形成の一助となっている。	
B.評価の根拠	
卒業生在籍調査	
C.課題と今後の改善方策	
今後も活躍している卒業生を定期的に講師として招き、教育活動への活用/キャリア形成の手助けに努める。	

総合平均値	3.6
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

(5) 学生支援

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評 価
5-1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
就職率100%であり、支援体制は整備されている。進路相談役として担任教師が第一窓口として機能している。	
B.評価の根拠	
就職推進委員会・就職セミナー・就職ガイダンス・学園組織図・担任制度	
C.課題と今後の改善方策	
学生の希望と受け入れ先の希望に齟齬が生じないような調整を図る。	

評価項目	評 価
5-2.学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
整備されている。	
B.評価の根拠	
担任教師/学生相談窓口/学生生活規則	
C.課題と今後の改善方策	
学生の相談の内容により、専門家の活用を検討する。	

評価項目	評 価
5-3.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
学費ローンの紹介、奨学金・支援金等の紹介・学費分割（条件により承認）等による支援を実施している。 「高等教育の修学支援新制度」の対象校（令和3年度より）となっている。	
B.評価の根拠	
募集要項・奨学金等パンフの配布による周知と相談受付および対応・高等教育の修学支援新制度	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
5-4.学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
健康管理・衛生管理を非常に気にかけしており、その検査や管理の体制も整えている。	
B.評価の根拠	
衛生委員会活動・健康診断、細菌検査の実施・アレルギー等の申告書管理・菓子販売票	
C.課題と今後の改善方策	
衛生委員会を中心に、更なる充実を図る。	

(5) 学生支援

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評 価
5-5.課外活動に対する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
コロナ禍の影響で制限が多い年であったが、安全確保を条件に原則として参加を促進している。	
B.評価の根拠	
各種ゼミナールの実施、コンテスト入賞歴、留学生技術大会の実施実績、校内コンクールの実施	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
5-6.学生の生活環境への支援は行われているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
生活環境の悪化が学校生活へ影響を与えるので積極的に支援を行っている。	
B.評価の根拠	
出席簿、授業態度のチェック、保護者通知、学生相談窓口	
C.課題と今後の改善方策	
状況に応じた支援を行えるよう検討していく。	

評価項目	評 価
5-7.保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
学期末ごとに保護者へ成績表の送付を行っている。また、欠席（減点）が多い場合にも都度通知をしている。保護者との連絡を密にして、問題の早期把握、解決に努めている。	
B.評価の根拠	
保護者通知、教職員会議議事録、緊急連絡網(sigfy)の活用	
C.課題と今後の改善方策	
保護者との連携の在り方を検討し、更なる充実を目指す。	

評価項目	評 価
5-8.卒業生への支援体制はあるか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
あらゆる面で指導・支援を行っている。	
B.評価の根拠	
就職・求人情報の公開、地方講習(校友会)の開催	
C.課題と今後の改善方策	
WEBサイトを利用した支援の強化を図る。	

評価項目	評 価
5-9.社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
整備されている。	
B.評価の根拠	
講習会やセミナーへの参加状況、関連協会への入会、授業カリキュラム	
C.課題と今後の改善方策	
社会ニーズの収集に努め、更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
5-10.高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
移動授業等により依頼があった高校等へ講師派遣している。 コロナ禍の影響により例年よりも実施回数は減少したが、職業教育に貢献している。	
B.評価の根拠	
業務方針報告書、事業報告書、移動授業等の実績	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

総合平均値	3.7
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
6-1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
コロナ禍の影響で当初の予定通りとはいかなかったが、十分に整備されている。コロナ対策も取れている。	
B.評価の根拠	
施設・設備の状況、学生アンケート、助成金申請（新型コロナウイルス感染対策関連）	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
6-2.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
コロナ禍の影響により活動自体は例年より減少したが、体制は十分に整えている。	
B.評価の根拠	
学生アンケート、インターンシップ制度	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
6-3.防災に対する体制は整備されているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
施設設備には問題はない。点検も法令通りに行っている。	
B.評価の根拠	
施設設備法令点検表、予防、防災組織、防災計画	
C.課題と今後の改善方策	
学生を含めた防災訓練の実施を目指す。	

総合平均値	3.3
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
7-1.学生募集活動は、適正に行われているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
適正に行われている。	
B.評価の根拠	
毎年度の入学者数、アドミッションポリシー	
C.課題と今後の改善方策	
夜間部の入学者数が前年比1.4倍となる。今後も昼間部・夜間部問わず募集活動を強化していく。	

評価項目	評 価
7-2.学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
コロナ禍の影響もあり例年よりも参加者や開催回数は減少したが、学校見学、オープンキャンパス、学校ガイダンス、移動授業、夜学説明会などあらゆる広報活動にて教育の成果を伝えられている。	
B.評価の根拠	
オープンキャンパス、夜間部説明会、移動授業、学校ガイダンス	
C.課題と今後の改善方策	
コロナ禍の影響で活動環境は厳しい状況にあるが、一層の充実を目指す。	

評価項目	評 価
7-3.学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
教育内容から考えて、妥当である。	
B.評価の根拠	
計算書類（資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表）、学則	
C.課題と今後の改善方策	
現状維持できるよう努力を続ける。	

総合平均値	4.0
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
8-1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
借入金を全額返済するなど、財政基盤は安定している。	
B.評価の根拠	
財務書類（資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表）	
C.課題と今後の改善方策	
現状を継続すべく努力をする。	

評価項目	評 価
8-2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
無理のない事業計画であり、その予算にも妥当性および有効性がある。また、不測の事態に備えた柔軟性もある。	
B.評価の根拠	
予算書（資金収支予算書・事業活動収支予算書）・事業計画書・各課からの予算要望計画	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
8-3.財務について会計監査が適正に行われているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
公認会計士の監査を毎年受けており、監査は公正・正確に行われている。	
B.評価の根拠	
決算書、監査報告書	
C.課題と今後の改善方策	
今後も公正・正確に監査を行うよう努力する。	

評価項目	評 価
8-4.財務情報公開の体制整備はできているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
5月下旬の役員・評議員会での決議後、ホームページ上にて公開している。	
B.評価の根拠	
財務情報公開資料及び財務情報閲覧要項	
C.課題と今後の改善方策	
今後も継続して行っていく。	

(8) 財務

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

総合平均値	4.0
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
9-1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
法令や専修学校設置基準遵守し適正な運営を実行している。	
B.評価の根拠	
寄附行為、学則、各種規程	
C.課題と今後の改善方策	
今後も適正な運営を心掛ける。	

評価項目	評 価
9-2.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
個人情報保護法に基づいて対策を取っている。	
B.評価の根拠	
個人情報保護方針(プライバシーポリシー)、PC使用規程、個人情報保護保険	
C.課題と今後の改善方策	
適宜、適切な運用について周知徹底を心掛ける。	

評価項目	評 価
9-3.自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
学校関係者評価委員会での意見を積極的に取り入れ、改善に取り組んでいる。	
B.評価の根拠	
自己点検評価報告書、学校関係者評価委員会議事録、自己点検評価委員会議事録	
C.課題と今後の改善方策	
教職員において課題を共有し、改善に向けて取り組んでいく。	

評価項目	評 価
9-4.自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
自己点検評価を行い、学園のホームページ上で情報を公開している。	
B.評価の根拠	
自己点検評価報告書、自己点検評価委員会、学校評価実施規程	
C.課題と今後の改善方策	
今後も同様の活動を継続していく。また、教職員への周知を更に強化し、積極的な参画を促していく。	

(9) 法令等の遵守

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

総合平均値	4.0
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
10-1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
教室の貸し出しや地域イベントへの協力等、社会貢献及び地域貢献を行っている。また学校周辺の清掃活動も実施している。実習製品の子ども食堂への無償提供を行い、フードロスにも取り組んでいる。	
B.評価の根拠	
事業報告書、CSV推進委員会、SDGs	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

評価項目	評 価
10-2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
必要とされるボランティア活動について告知を行っている。	
B.評価の根拠	
現状の客観的判断による	
C.課題と今後の改善方策	
授業に支障が出ない範囲での協力、支援を行えるよう努める。	

評価項目	評 価
10-3.地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
求めに応じて、協力できる体制や準備が整えられている。	
B.評価の根拠	
事業報告書	
C.課題と今後の改善方策	
授業に支障が出ない範囲ではあるが、協力を促進する。	

総合平均値	3.3
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

評価項目	評 価
11-1.留学生の受入れ、派遣について戦略を持って行っているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
諸外国よりの評価が高く、積極的・戦略的に取り組んでいる。	
B.評価の根拠	
事業報告書	
C.課題と今後の改善方策	
留学生と国内学生との割合に留意して、今後も継続実施していく。	

評価項目	評 価
11-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④・3・2・1
A.現状確認・評価	
法令を遵守し、適切に行っている。	
B.評価の根拠	
成績表・出席簿、留学生担当者よりの報告、特定技能VISA/特定活動VISAの取得あっ旋	
C.課題と今後の改善方策	
適切にできている現状を継続する。	

評価項目	評 価
11-3.留学生の学修、生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
教師により指導できる体制を整備している。	
B.評価の根拠	
現状からの客観的評価、ソウルオフィス	
C.課題と今後の改善方策	
留学生の日本語会話能力の向上に尽力し、きめ細かい指導を行うなど、対応能力の充実化を図る。	

評価項目	評 価
11-4.学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4・③・2・1
A.現状確認・評価	
様々な行事に対し、機会が有る毎に参加するなど十分に取り組んでいる。	
B.評価の根拠	
客観的評価、評判、コンテスト受賞歴	
C.課題と今後の改善方策	
更なる充実を図る。	

(11) 国際交流

【評価】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

総合平均値	3.5
記載責任者	長谷川 献
最終更新日付	2021年4月10日

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

○目標・計画

第三者評価を実施することを当面の最終目標とします。

自己点検評価および学校関係者評価はしっかりと実施できていますが、実施スケジュールの早期化を目指したいと思います。根拠に乏しい点検評価は資料の充実化を図ることで、早急に改善します。最終目標は**2025年度までには完成**させるように計画します。

次年度の目標として、以下の項目を考えています。

- ①教職員アンケートを実施し、「自己点検評価の意義」と「変革の意識」の浸透を図る。
- ②学生アンケートを実施し、学生のニーズや考えを知り、教育活動へ反映させる。
- ③自己点検・評価委員会運営マニュアルを作成・修正する。
- ④自己点検・評価実施マニュアルを作成・修正する。
- ⑤自己点検・評価の公開及びフィードバックを実施する。

○2020年度総合評価

当学園は「菓子は人なり」という教育理念の基、学園運営に取り組んでおり、時流に合った授業内容の改訂、施設設備の改築や充実にも努力を続けてまいりました。このことを自己点検評価を通じて再認識出来た点は非常に有意義であったものと考えます。

次年度以降も当該評価の意義を教職員に再度周知徹底し、問題点の情報共有やその改善意識の向上、教職員のスキルアップへとつなげていくことを目指します。

以上

学校法人 東京綜合食品学園
東京製菓学校

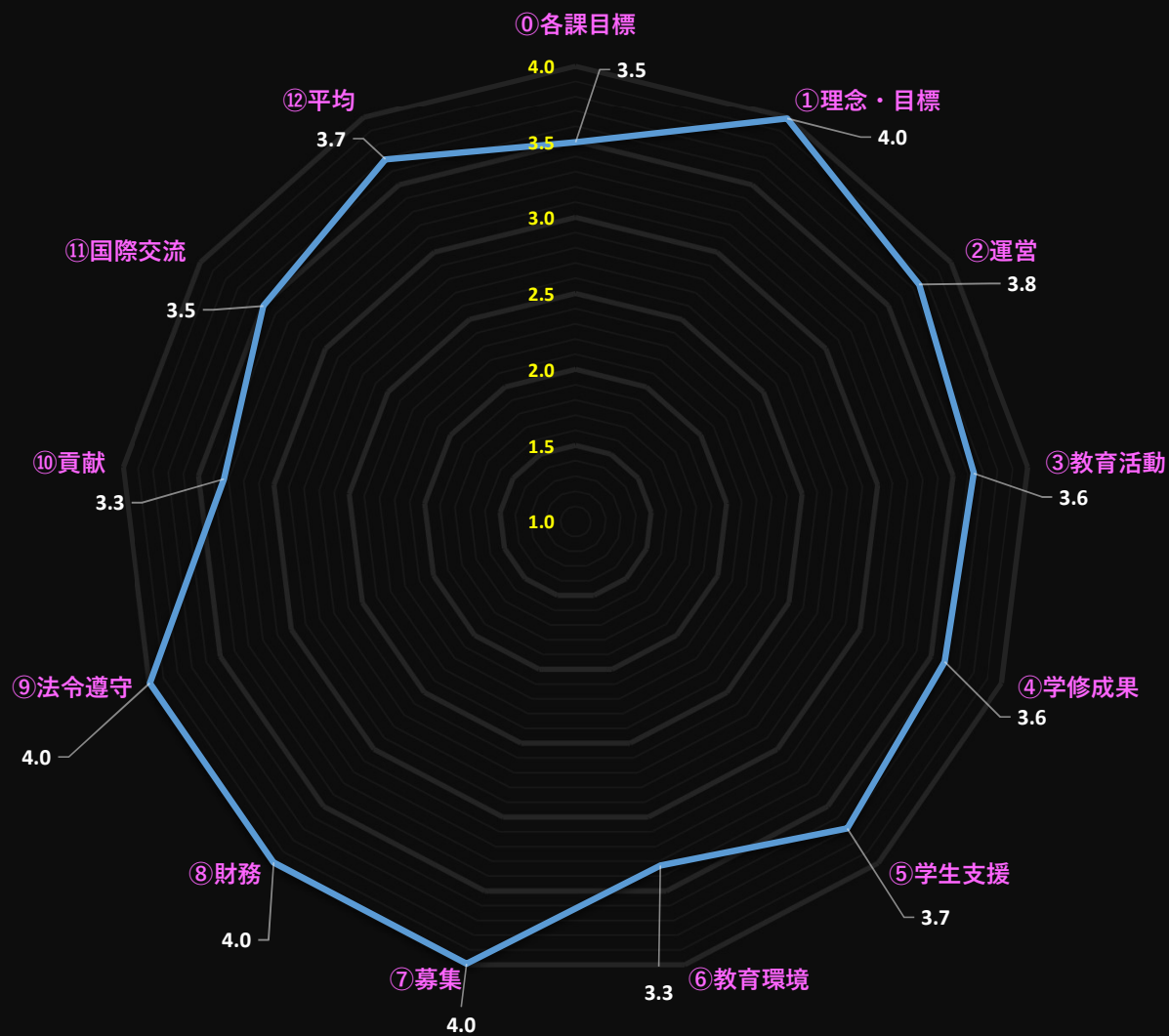
※自己点検評価に関することのお問合せは下記まで。



東京都新宿区高田馬場1-14-1
東京製菓学校／自己点検評価委員会
TEL 03-3200-7171

自己点検評価

<2020年度>



2020年度

①各課目標	3.5
①理念・目標	4.0
②運営	3.8
③教育活動	3.6
④学修成果	3.6
⑤学生支援	3.7
⑥教育環境	3.3
⑦募集	4.0
⑧財務	4.0
⑨法令遵守	4.0
⑩貢献	3.3
⑪国際交流	3.5
⑫平均	3.7